

野田市立図書館及び野田市コミュニティ会館指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月15日（水）午後3時から3時30分まで
開催場所 市役所 5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、民生経済部長、
生涯学習部長、行政管理課長、管財課長、市民生活課長、興風図書館長
欠席委員 なし
事務局 興風図書館、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

（1）平成28年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成29年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書の審査について

＜事務局より平成28年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成29年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

○業務報告書7ページの②地域の特性を生かした取組にある1月14日の講演会の参加人数を教えてください。

また、業務報告書39ページの年度事業報告にある「にじのおはなし会」の参加者が少ないようだが、その原因と参加を促すための具体策があれば教えてください。

→1月14日の講演会の参加人数は58人である。

「にじのおはなし会」の参加者が少ない原因は、児童の減少が考えられる。

関宿地域の各学校の児童数はほとんどの学校で減少しており、平成26年度と平成28年度の対比で、木間ヶ瀬小学校が26.8ポイントの減少、二川小学校が10.4ポイントの減少、関宿小学校が0.8ポイントの減少、関宿中央小学校が±0となっている。

参加を促すための今後の対策については、参加年齢を下げたおはなし会の開催を検討するとともに、今まで以上に学校、幼稚園、保育所に呼びかけていきたいと考えている。

○業務報告書 24 ページの②要望、苦情への取組について、今年度の苦情件数と、苦情があった場合はその内容を教えていただきたい。

→4 月から現時点まで苦情はない。

○南・北や興風図書館では苦情などが結構あるようだが、せきやど図書館と関宿コミュニティ会館では、全く苦情はないのか。

→毎月の業務報告書に加え、会議開催に当たり改めて指定管理者に確認しているが、苦情はなかったとのことである。

○業務報告書 25 ページの①現金の取扱い等について、金融機関への入金頻度はどれくらいか。

また、現金はどのように保管しているか。

→金融機関への入金頻度は、複写機使用料金と紛失図書弁償金は、月初めに 1 度入金している。

図書館刊行物売払金は、売上の都度即日入金している。

コミュニティ会館利用料金は、月初めに 1 度入金している。

現金は、図書館事務室内の金庫にて保管している。

○業務報告書 50 ページの収支状況報告の支出について、租税公課費の説明欄に消費税及び地方消費税とあるが、何の消費税なのか。

→事業者が国内で商品の販売やサービスの提供を行った場合には、原則として消費税が課税され、この消費税の納付税額は、課税期間中の課税売上げに係る消費税額から、課税仕入れ等に係る消費税額を差し引いて計算される。

課税売上げには、指定管理者受託のようなサービス提供事業の対価も含まれるため、指定管理の受託者である図書館流通センターは、国に納付する義務のある消費税の申告上、課税売上げである指定管理料の収入に係る消費税から、課税仕入れである指定管理を行う上での物品購入や各種経費の支出に係る消費税を差し引いて、納付すべき消費税及び地方消費税を租税公課費に計上している。

○業務計画書 6 ページの②地域の特性を活かした取組について、平成 28 年度の事業報告では地域特性の「将棋」や「関根金次郎」を活かした事業がなかったが、平成 29 年度は何か計画はないのか。

→毎年 1 月下旬頃に将棋の女流名人戦がいちいのホール内関宿コミュニティ会館小ホールで行われているので、そのイベントに関連した将棋に関わる企画展示の開催を検討している。

○業務計画書 6 ページの②地域の特性を活かした取組について、項番号 1 の地域と連携した事業の中に「県立関宿城博物館や他の地域公共施設や教育施設と連携す

るような事業を構築してまいります。」とあるが、現段階ではどのような事業を想定しているか。

→コミュニティ会館の平日の稼働率が低いため、学校並びに公民館での利用を誘致したいと考えている。また、関宿中央小学校には、小ホールの映像設備を活用した校外学習を提案させていただきたいと考えている。

○業務計画書35ページの収支計画の(2)支出について、本社管理費の説明欄に「人件費増に伴う補填」とあるが、今後も人件費が増加した場合には、本社管理費が低減していくことになるのか。

→平成29年度は、給与待遇見直しによる人件費の増額が予定されており、指定管理料の範囲内で収支をとる場合、この増額分は本社管理費で調整されている。今後も人件費が増加すれば本社管理費が低減していくことになると思う。

<審議の結果>

平成28年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書、平成29年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について承認

- (2) 平成28年度(4月～12月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書の審査について
＜事務局より平成28年度(4月～12月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書について説明＞

＜審議の概要＞

○業務報告書8ページから9ページの大人のための調べ方講座について、南図書館が3人、北図書館が1人と、参加人数が少ないようであるが、募集方法はどのように行ったのか。

→南図書館は、用意できるパソコンの台数の関係で講座の募集定員を3人としたため、市報やホームページで募集すると定員を大幅に超過した応募があるおそれがあったことから、南図書館内へのポスター掲出カウンターでのチラシ配布にとどめ、定員ちょうどとなる3人の参加をいただいたものである。

北図書館も、図書館内に設置してある利用者用の図書館検索機の台数の関係で講座の募集定員を3人としたことから、南図書館と同様に図書館内へのポスター掲出カウンターでのチラシ配布にとどめ、結果として今回は参加者が1人となったものである。

○業務報告書10ページの3赤ちゃん、幼児向け事業の実施について、「ぬいぐるみのおとまり会」のおすすめの絵本は、差し上げているのか。

また、各種のイベントの開催はどのように周知しているのか。

→「ぬいぐるみのおとまり会」のおすすめの絵本は、図書館の本を渡して、ぬいぐるみを迎えにきた子どもに気に入ってもらえたら、貸出しをする流れになっている。また、イベント周知方法については、市報への募集記事掲載や図書館内にポスター掲示したり、PRチラシを窓口において配布したり、近隣の公共施設である公民館・学童保育所・会館などへポスター掲示やチラシ配布を依頼したり、町内会回覧板へチラシの差し込みをお願いしたり、図書館ホームページへ募集記事を掲載するなどの方法により周知を行っている。

○業務報告書27ページの①現金の取扱い等の経理処理について、金融機関への入金頻度はどれくらいか。

また、現金はどのように保管されているか。

→金融機関への入金頻度は、複写機使用料金・紛失図書弁償金・公衆電話使用料金は月初めに1度入金している。

刊行物売払金は、売上の都度即日入金している。

コミュニティ会館利用料金は、関宿は月に1回であったが、南・北は関宿に比べて利用料金が多いので週に1度入金している。

現金は、図書館事務室内の金庫にて保管している。

<審議の結果>

平成28年度(4月～12月)野田市立南・北図書館及び野田市南・北コミュニティ会館業務報告書について承認

3 閉会